

2024年度 第28回鉄道工学シンポジウム講演プログラム

第1日目：2024年7月30日（火）

	10:00	10:10	開会挨拶	亀田委員長
1	10:10	10:25	軌陸BH（4頭TT）による道床突き固め計画支援システムの実装検討	内藤悠太（JR東日本）
2	10:25	10:45	マルチプルタイタンパと4頭タイタンパを組み合わせた軌道変位保守計画手法	斉藤大樹（鉄道総研）
3	10:45	11:05	機械学習を用いた軌道座屈箇所の推定及び管理方法に関する一考察	山門健人（JR東日本）
	11:05	11:25	休憩	
4	11:25	11:40	台湾鉄道の運輸施設に見られる日本統治時代の影響	小原優輝（明石工業高専）
5	11:40	12:00	未被災の鉄道路線に対する災害復旧と鉄道事業継続に関する意識調査～名鉄蒲郡線を事例として～	小池則満（愛知工業大学）
6	12:00	12:20	携帯電話位置情報を用いた災害時における都道府県間流動量の変動分析	山幡信道（日本大学）
	12:20	13:30	休憩（昼食）	
7	13:30	13:45	ノーズ可動クロッシングの摩耗進展に関する一考察	安達季並（JR東日本）
8	13:45	14:05	小型転動疲労試験による熱処理レール材のき裂発生・摩耗進展評価	幸野真治（鉄道総研）
9	14:05	14:25	押抜き作業が不要な低圧縮量レールガス圧接部の性能評価	小納谷優希（鉄道総研）
10	14:25	14:45	軌道スラブ種別および劣化機構に対応した補修方法	北条優（鉄道総研）
	14:45	15:05	休憩	
11	15:05	15:25	3次元照査ツールを活用した地下駅舎のフラットスラブ設計	伊東希典（日本工営）
12	15:25	15:45	設計年代の違いに着目した合成橋りょうの列車通過時の動的応答特性の実態分析	北川晴之（鉄道総研）
13	15:45	16:05	車上計測された軌道変位に基づく橋りょう支承あおり検知に向けた数値解析的検討	服部絃司（鉄道総研）
14	16:05	16:25	複数カメラを利用した列車通過時の橋台裏レール変位分布の画像計測	保木本晟也（鉄道総研）

第2日目：2024年7月31日（水）

15	9:00	9:20	走行調和加振力を受ける軌道応答に関する基礎的検討	笠原滉太（新潟大学）
16	9:20	9:40	分岐器の高速通過時において軌道変位が車両運動に及ぼす影響に関する検討	塩田勝利（鉄道総研）
17	9:40	10:00	継目部材損傷時の運転規制見直しに関する検討	田中俊史（JR西日本）
	10:00	10:20	休憩	
18	10:20	10:35	鉄道土木系設備の保守効率化のための実態調査と課題	矢野貴洋（JR四国）
19	10:35	10:55	鉄道保線系設備の保守効率化のための実態調査と展望	田尾圭吾（JR四国）
20	10:55	11:15	鉄道電気系設備の保守効率化のための実態調査と展望	高橋和樹（JR四国）
21	11:15	11:35	検査記録の不完備性を考慮した転てつ機の統計的不具合発生予測	稲場亘（鉄道総研）
22	11:35	11:55	ワイブル型で不具合が生じる鉄道設備の維持管理シミュレーション	為広重行（鉄道総研）
	11:55	13:00	休憩（昼食）	
23	13:00	13:20	設計地震動の変化が橋りょう・高架橋の断面に与える影響把握のための基礎的検討	田中仁規（鉄道総研）
24	13:20	13:40	実物大の高架橋群を対象とした振動特性の振幅依存性に関する一考察	山下大輝（鉄道総研）
25	13:40	14:00	地中部の振動寄与率に基づく構造物の減衰定数を考慮した鉄道高架橋の設計	石川太郎（鉄道・運輸機構）
	14:00	14:20	休憩	
26	14:20	14:35	横取装置用可動式検知器の改良について	栗原巧（JR東日本）
27	14:35	14:55	分岐器の保守状態による転換力への影響に関する考察	堀雄一郎（JR東日本）
28	14:55	15:15	井桁状まくらぎ敷設レール継目部を対象としたパラスト道床沈下解析法	紅露一寛（新潟大学）
	15:15	15:35	休憩	
	15:35	15:40	講演者紹介	古川副委員長
	15:40	16:40	特別講演：鉄道の事故調査とその海外展開 奥村文直氏（運輸安全委員会 委員（常勤） 鉄道部会長）	
	16:40	17:00	表彰式	亀田委員長
	17:00	17:10	閉会挨拶	古川副委員長